

はじめに

このたびは、TOTOウォシュレットをお求めいただき、まことにありがとうございます。
製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容によって正しく取付けてください。

1. 電気工事が必要な場合は必ず電気工事に依頼してください。
2. 商品にはお客様用として、保証書・ご愛用のしおり・使用方法説明書を便ふたに張付けています。
工事完了後、お客様に手渡してできない場合は、便ふたに張付けてまましておいてください。
3. 保証書には、お買上げ店名又は工事店名及びお取付け日を必ず記入してください。

安全上の注意

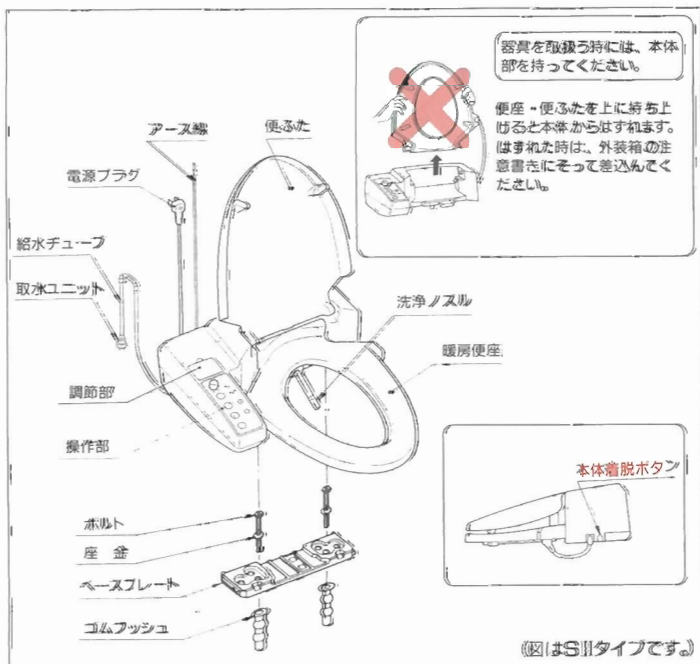
警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

1. 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。(火災や感電のおそれがあります。)
2. アースは、第3種接地工事(100Ω以下)を行ってください。又、本体着脱ができる構造になっていますので、アース線に余裕を取って接続してください。(感電するおそれがあります。)
3. 水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しないでください。
(皮膚の炎症などを起こすおそれがあります。)
4. 電源プラグを交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。
(感電や火災のおそれがあります。)

取付前の注意

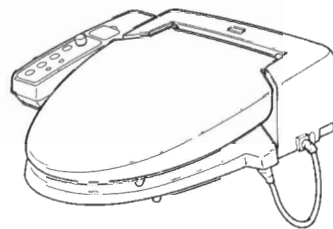
1. 電源は、交流100V(50/60Hz)、最高消費電力はSIIは621W(SIIIは625W)です。
必ずこれに適した配線をしてください。
2. 電源コードの長さは1.0mです。コンセントは本体のコード取出し位置から0.6m以内の壁面に設けてください。
3. この製品はロータンク式便器専用です。フラッシュバルブセット及びハイタンク式の便器には取付けできません。ただし、ロータンク式便器でも手洗付きの場合は、別売のサブタンクセット(TCA2R又はTCA2R-I)が必要です。
4. 取水ユニットを陶器にぶつけないようにしてください。陶器が破損するおそれがあります。
5. 器具への通電及び通水は、本体を便器へ取付けてから行ってください。

各部の名称

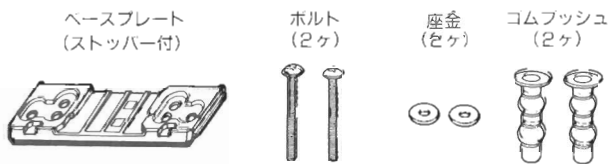


部品の確認

①ウォシュレット本体



②ベースプレート部品



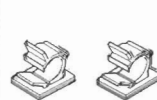
③取水ユニット



④給水チューブ



⑤チューブ押え

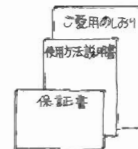


⑥スペーサ



⑦保証書

使用方法説明書
ご愛用のしおり
同封



仕様

項目	内容	
定格	交流100V SIIは621W(SIIIは625W) 50/60Hz	
1時間当たりの標準消費電力	SII-41Wh、SIII-42Wh(1日2回使用で年間平均)	
電源コード	有効長さ1.0m	
洗浄装置	おしり洗浄	吐水量調節範囲 0.3~1.0L/min
	ヒテ洗浄	吐水量調節範囲 0.3~1.0L/min
	吐水温度	温度調節範囲 約30~40℃
	ヒーター容量	500W
	洗浄方式	ムーブ洗浄機能付
安全装置	温度ヒューズ・温度過昇防止器	
	空焚き防止フオートスイッチ	
逆流防止	バキュームブレーキ付	
乾燥装置 (SIIタイプのみ)	温風温度	温度調節範囲 約40~50℃
	ヒーター容量	360W
	安全装置	温度ヒューズ
暖房便座	表面温度	温度調節範囲 約30~40℃
	ヒーター容量	81W
安全装置	温度ヒューズ	
脱臭機能 (SIIIタイプのみ)	オゾン脱臭方式	
周囲使用温度範囲	0~40℃	
製品寸法	洗滌し便器用	幅52cm 奥行50cm 高さ18cm
	その他の便器用	幅52cm 奥行53cm 高さ16cm
製品質量	SII-7.3kg SIII-7.4kg	

(※はSIIIタイプです。)

ポンプ給水式) 取付説明書

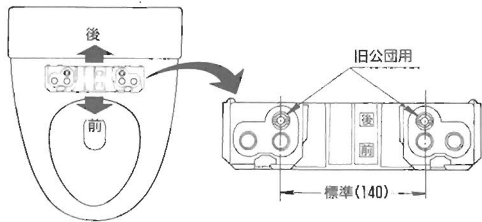
取付方法

1. 便器への取付け

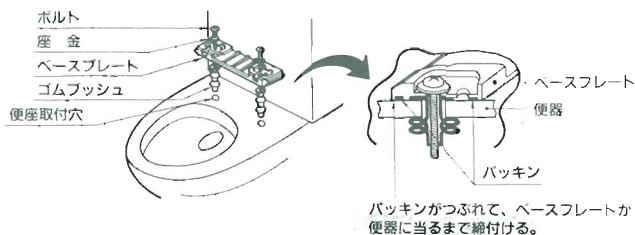
①ベースプレートの取付穴の確認をしてください。

「前」後」と表示している方が表側です。

「前」と表示している方を、便器の先端側に向けます。



②ボルト、座金、ゴムフッシュがセットされたベースプレートを、便器の便座取付穴に差し込み、上面からドライバーでボルトを締め便器に固定してください。
(ゴムフッシュが差し込みにくい場合は、ゴムフッシュ表面を水で濡らしてください。)

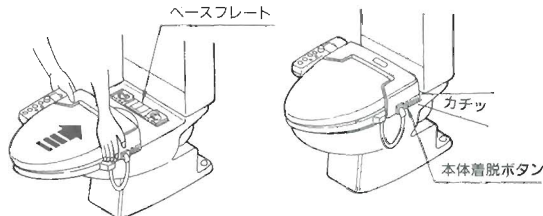


パッキンがつぶれて、ベースプレートが便器に当たるまで締付ける。

※ベースプレートは仮止めし、便座本体がまっすぐに取付くことを確認してから本締めしてください。本体は本体着脱ボタンを押したまま手前にスライドさせるとはせず。

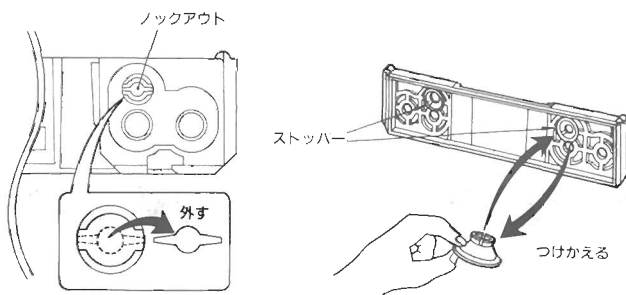
※ボルトはベースプレートが便器に当たるまで締付けてください。

③その後、ベースプレートのスライド溝とケース本体の溝の位置を合せ便器の上をすべらすようにして奥にスライドさせて「カチッ」と確実に本体がベースプレートにフックされるまで押込んでください。



旧公団用取付け

- 旧公団用の取付穴を使う場合はロックアウト部を取外してください。
- ベースプレートについてのストッパーを、旧公団用の穴へつけかえてください。



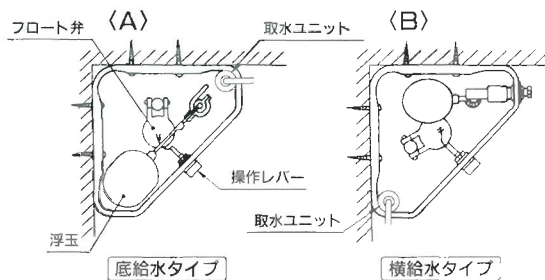
2. 取水ユニットの取付け

①取水ユニットの取付位置を決めてください。

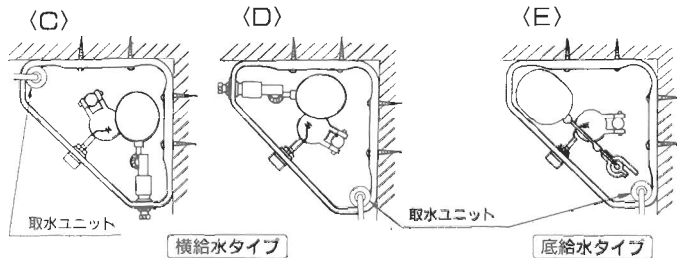
注：このとき、取水ユニットや給水チューブが操作レバー及びロータンク内の浮玉やフロート弁などの作動を妨げない位置を選んでください。

隅付ロータンクの場合

左壁にロータンクが取付いている場合

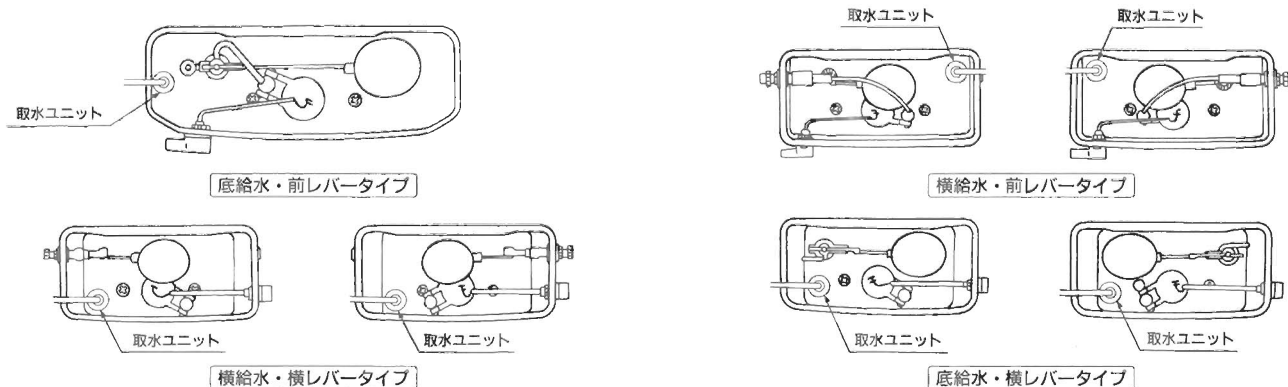


右壁にロータンクが取付いている場合



〈D〉〈E〉のような場合は給水チューブ長さが余裕のない場合があります。その時はチューブ長さが2mのD44018-1t1をお求めください。

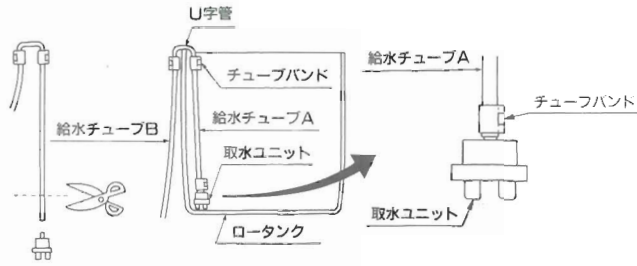
平付及び密結ロータンクの場合



取付方法

2. 取水ユニットの取付け

②取水ユニットの取付位置が決まったら、U字管をロータングのフチにかけた状態で取水ユニット底面がロータング底面にちょうど触れる程度に給水チューブAを切って長さを調節します。
給水チューブAに取水ユニットを接続し、チューブバンドで確実にとめてください。



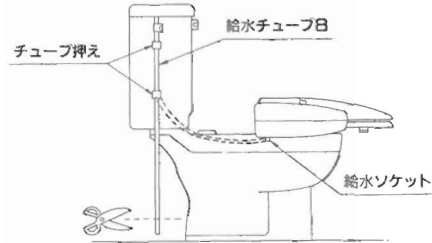
③ロータング上面の水気及び汚れを十分取除いた後、スペーサ（セパレート紙をはいて）を張付けてください。



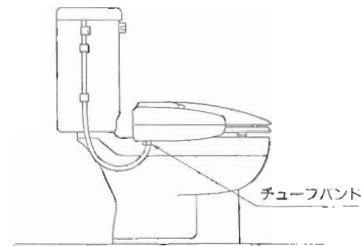
④取水ユニット及び給水チューブをロータング金具の作動を妨げないようにセットしてください。

⑤給水チューブBをチューブ押えでロータングに固定してください。

⑥本体をベースプレートからはすしても、給水チューブBが給水ソケットに接続できるように長めにカットして、給水ソケットに差込み、チューブバンドで確実にとめてください。



※左図のようにチューブに余裕がない場合はチューブ延長品D44018-1t1をお求めください。



※手洗付ロータングの場合は、別売のサブタンクセット(TCA2R又はTCA2R-I)が必要です。取付けに当たってはこの説明書を合わせてご覧ください。

試運転

1. 試運転の前に

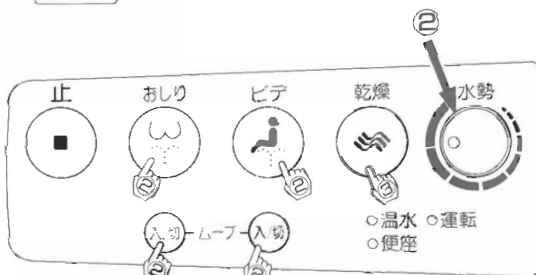
ロータングに水をためてください。

2. 電源プラグの差込と初期動作確認

警告 電源プラグを交流100V(50/60Hz)のコンセントに根元まで確実に差込んでください。
※ノズルが一旦出て戻る初期動作を行っているか確認してください。

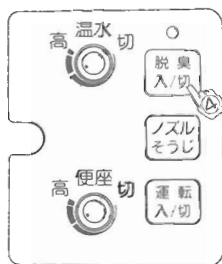
3. 機能の確認

操作部



(図はSIIタイプです。)

調節部



(図はSIIIタイプです。)

①着座センサ



①着座センサを動作させてください。

- 腕をできるだけ広くびったりと便座に接触させてください。
- ※腕を便座から離すと着座センサは切れます。

※次の②③④の確認は着座センサを動作させた状態で行ってください。

②洗浄



②洗浄機能を確認してください。

(確認ポイント)

- ①ノズルから吐水するか。(タンクが空のときは吐水するまでに約1分かかります。)
- ※ノズル左側の排水口から水が出る場合は水抜レバーを閉位置に移動させてください。
- ②おしり・ビデ共に適温の温水がでるか。(温水になるまで約5分かかります。) 水勢が変化するか。
- ③洗浄時、ムーブスイッチを押すとノズルが揺動し、もう一度押すと揺動が止まってふつうの洗浄に戻るか。
- ④ノズルの動きは正常か。(スイッチを押してノズルを洗ったのち、ノズルが出ます。止を押すとノズルが引っ込みノズルを洗います。)
- ⑤本体から水漏れはないか。
- ⑥止スイッチを押すと止まるか。

③乾燥

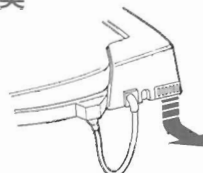


③乾燥機能を確認してください。(SIIタイプのみ)

(確認ポイント)

- ①温風が便座後方から出るか。
- ②止スイッチを押すと温風が止まるか。

④脱臭



④脱臭機能を確認してください。(SIIIタイプのみ)

(確認ポイント)

- ①着座センサを動作させると本体ケースの右側から風が出ているか。
- ②脱臭入/切スイッチを押すと風が止まるか。

⑤暖房便座機能を確認してください。

(確認ポイント)

- ①便座が温まっているか。(10~15分かかります。)

以上の確認が終了したら、お客様に引渡されるまで電源プラグを抜いておいてください。
ただし、お客様に引渡されるまでに凍結のおそれがあるときは通電したままにしておいてください。
水抜した場合は水抜レバーを閉位置に移動させてください。

工事店様へ

取付後は製品の使い方についてお客様に説明してください。